学校番号	T3011

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	（学）総合Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

定時制の２年生となりました。ものづくりの内容を学ぶ学校でこのヒューマンサイエンス系列を選択してきた諸君に、この系列の生徒として今後３年、４年生と進級し進学・就職していくことを踏まえた内容を学びます。自分について、進路について、社会問題について…。さまざまなテーマについて自分で調べ、考える授業です。さらには、その考えたことを自分らしく表現し、相手に伝える練習をしていきます。自分の考えたこと・調べたことの表現方法として、紙とペンを使うときもあれば、ICT 機器を使うときもあります。ICT 機器を用いて、各種 Office ソフトの基本操作を身に着けたり、Canva を用いて自分らしいデザインのプレゼンテーションやパンフレットを作ったりします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
学習の過程において、疑問点の発見や解決に必要な知識及び技能を身に付け、新しい学習課題に関わる概念を形成し、学習の意義や価値を理解するようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
実社会や実生活と自己との関わりから疑問点を見いだし、自分で解決の道筋を立て、情報を集め、整理・分析 して、まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
学習に主体的・協働的に取り組むとともに、共に学ぶことと、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各Officeの基礎的な知識やCanvaの基本的な操作､PCの活用法を習得しているか。また、これらを活用することができるかを評価する。	調べもの学習を通して､Canvaや Word で表現できるか、Excel を利用して、表計算やグラフ化することにより、道理的な思考判断、わかりやすい表現ができているかを評価する。	学習内容を発表するにあたり、先ずは個人で Canva や PowerPoint を利用して､プレゼンテーションをするが、その時に、この授業に主体的に取り組めたか、また、他者と協力よくできたか、他者の発表も本人なりに真剣に聞く態度が見られたなどを評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自分について	「自分の好きなこと」をテーマにプレゼンしよう ・CanvaやPowerpointの基本操作の習熟	a:それぞれのソフトウェアの特徴を理解して、用途に応じて使い分けができる。また、各操作方法を理解し基本操作技術を習得している。 また、インターネット・本などで自分の調べたいことを調査する技術を身に着けており、また調査する際の注意点も理解している。 b:　自分の調べたいテーマに対して、多面的・多角的に分析・考察しようとしている。 c:教師からの指示だけでなく、自分から調べたいテーマに対して積極的に調査しようとしている。また、他者の意見を取り入れて、自分の課題に活かそうとしている。	課題	課題 授業中の発言	聴講時の様子 作業の様子等
	進路について	「気になる職業」をテーマに調べたことをまとめよう ・Word や Excel の基本操作の習熟				
後期	社会問題について①	「社会問題」から、自分の調べたいことを決め、調査した後、自分の考えや意見を発表する。				
	社会問題について②	「社会問題」から、自分の調べたいことを決め、調査した後、自分の考えや意見を発表する。				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度